

長崎県教育会報

第170号

令和3年5月25日



光り輝く未来へ〈南島原市立有家小学校〉(写真の解説はP12)

令和3年5月25日

長崎県教育会報

第170号 (12)

令和三年四月一日、有家小学校、蒲河小学校、新切小学校の三校が統合して、新しい「有家小学校」として開校しました。新しい校舎は旧有家小学校校舎を解体して、昨年十二月に完成しました。有家小学校の子どもたちは、運動場の一部に建設された仮設校舎で二年間、旧校舎解体、新校舎建設を間近に見ながら新しい校舎での生活を楽しみにして勉学に励みました。

昨年度、計画していた三校の交流学習はコロナ禍の中で十分できませんでしたが、三学期には蒲河小・新切小の児童を迎えて新校舎内覧会を実施しました。校舎の中に入ると、八十八メートルの長くて広々とした廊下が一直線に伸び、玄関の正面にある多目的ホールは、大階段と一体となってコンサートホールのような開放的な空間です。運動場は現在、全面改修中で、九月の完成が楽しみです。



表紙写真について

南島原市立有家小学校
校長 山下 晋吾

また、校旗も新しくなりました。有家町の「あ」を図案化した旧町章を基に、全体の丸みは円満・融和を、上部の尖部は統合する3つの小学校の躍動・向上を表しています。校章の金色は、子どもたちの光り輝く未来への願いを、えんじの色は、大地を表し、子どもたちの健やかな成長への願いが込められています。

新しくなった校章・校歌・校舎の下で、三校の子どもたちが今年度のスローガン「みんななかよし笑顔輝く有っ子」のように、楽しく学校生活を送ってくれることを願っています。そして、児童・保護者・地域の方々から統合して良かったと言われるような魅力ある学校づくりをめざし、学校教育目標の「心身ともに健康で、かしこく、やさしく、たくましく生きる子ども」の育成に全職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

